

平成30年7月号 環境影響保全措置・調査実施状況（概要版）

平成30年7月

佐久市・北佐久郡環境施設組合

今号では、4月から6月に調査を実施した「ヤエガワカンバ成木及び現場近くへ移植した幼木」、「オニヒョウタンボク成木」、「ギンラン」の生育状況について報告します。

1 ヤエガワカンバ成木及び現場移植幼木の生育状況について

（1）成木の生育状況

成木のモニタリング調査を4月より開始しました。

平成29年6月に樹木の内部を腐食させるキノコが一部の枝で発生し、平成30年2月にキノコの除去と腐食した部位の切除を実施しました。その後キノコの再発生が心配されましたが、6月の調査時点では新たな発生はなく、一部の小枝の葉が枯れているものの、元気に葉を広げ密度も多い状況でした。



枝の伐採（H30.2.26撮影）



成木の様子（H30.6.5撮影）

（2）現場へ移植した幼木の生育状況

平成30年3月に成木の近くに移植した幼木は、6月の調査時点ではアブラムシの発生等により一部の葉や枝先が枯れたものの、順調に生育しています。

今後も順調に生育するように、生育環境の整備等を実施していきます。



現場への移植作業（H30.3.8撮影）



移植後生長した様子（H30.6.5撮影）

2 オニヒョウタンボク成木の生育状況について

成木8個体のモニタリング調査を5月より開始しました。

平成27年に建設地外へ移植してから順調に生育しており、元気に葉を付ける姿が確認できました。また、6月に実った果実を採取し、播種（種まき）しました。



成木の様子 (H30. 5. 16 撮影)



採取した果実 (H30. 6. 5 撮影)

3 ギンランの生育状況について

生育調査を5月に2回行い、小さな白い花を咲かせた5個体を確認しました。

また、生育環境を整えるために行う生育地周辺の下草刈り作業時には、根元にギンランが好んで生育するとされるコナラを残しながら慎重に実施しました。



今年度開花したギンラン (H30. 5. 24 撮影)



下草刈りの様子 (H30. 5. 24 撮影)

4 次号（10月）の内容

◆クリイロベッコウ生育調査結果

◆ベニモンマダラ生育調査結果

◆猛禽類（ハチクマ・ハイタカ・ノスリ）定点観察・営巣確認結果 ^{えいそう} について予定しています。